



# 平成19年3月期 第1四半期業績の概況（連結）

平成 18年 8月 10日

上場会社名 エス・バイ・エル株式会社 (コード番号 : 1919 東証・大証第1部)  
(URL http://www.sxl.co.jp/)

代表者 役職名 取締役社長 氏名 渡瀬 淳一  
問合せ先責任者 責任者役職名 取締役管理本部長 氏名 澤井 幹人 TEL (06) 6315 - 1131

## 1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無

## 2. 平成 19年 3月期第1四半期業績の概況 (平成 18年 4月 1日～平成 18年 6月 30日)

### (1) 連結売上高

\* ご参考 : 単独売上高

	(百万円未満切捨)	
	百万円	%
19年3月期第1四半期	9,092	△ 6.0
18年3月期第1四半期	9,677	△ 21.7
(参考)18年3月期	82,527	

	(百万円未満切捨)	
	百万円	%
19年3月期第1四半期	6,954	△ 3.7
18年3月期第1四半期	7,222	△ 28.0
(参考)18年3月期	67,413	

### [売上高に関する補足説明]

当第1四半期のわが国経済は、原油価格の高騰の影響が継続したものの、企業収益の改善や設備投資の増加及び個人消費の増加等により緩やかな回復基調で推移しました。住宅業界におきましては新設住宅着工戸数が貸家・分譲住宅が引き続き堅調に推移した一方、当社グループが主力とする持家についてもようやく回復の兆しが見えてきました。

このような状況下、当社グループの売上高は 9,092百万円（前年同期比6.0%減）となりました。

なお、単独受注残高の期初比増加額は7,467百万円（平成18年3月末24,525百万円、平成18年6月末31,992百万円）となっております。

当社グループの売上高の約90%を占める住宅事業において、顧客への住宅の引渡しは、例年第2四半期及び第4四半期、特に9月と3月に集中するなど、季節的な変動傾向が強く、第1四半期及び第3四半期の売上高は、他の四半期に比べて相対的に低くなっております。

\* ご参考 : 単独受注状況

(百万円未満切捨)

	受注高		受注残高		期初比受注残高増加額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年3月期第1四半期	14,421	△4.7	31,992	1.4	7,467	△5.5
18年3月期第1四半期	15,128	△1.8	31,555	△1.9	7,905	47.0
(参考)18年3月期	68,289		24,525		—	

## (2) 当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

## 3. 平成19年3月期の連結業績予想 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
中間期	37,500		△ 800		△ 900	
通期	83,000		300		100	

\* ご参考 : 平成19年3月期の単独業績予想 (平成 18年 4月 1日 ~ 平成 19年 3月 31日)

	売上高		経常利益		当期純利益	
	百万円		百万円		百万円	
中間期	31,000		△ 900		△ 900	
通期	70,000		0		0	

業績予想につきましては、当初予想に変更はありません。

※上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。